

がんを制御する

～突然変異研究を取り巻く新しい潮流～

2011 5/28 土 10:00-17:10

慶應義塾大学 芝共立キャンパス <http://www.pha.keio.ac.jp>

東京都港区芝公園1-5-30 交通アクセス：JR山手線・京浜東北線 浜松町駅下車、徒歩10分
都営地下鉄三田線 御成門駅下車、徒歩2分
都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅下車、徒歩6分

プログラム

10:00~10:05 開会の辞 日本環境変異原学会会長 山添 康（東北大学大学院）
10:05~10:15 はじめに 世話人 倉岡 功（大阪大学大学院）

■ 座長 / 倉岡 功（大阪大学大学院）

10:15~11:00 能美 健彦（国立医薬品食品衛生研究所）
「環境変異原によって誘発される突然変異：トランススクリプションDNAポリメラーゼの役割」
11:00~11:45 川西 優喜（大阪府立大学産学官連携機構）
「大気汚染多環芳香族化合物による突然変異生成の分子メカニズム
～DNA損傷の構造と突然変異」

11:45~13:00 昼食

■ 座長 / 鳴海 一成（日本原子力研究開発機構）

13:00~13:45 益谷 央豪（名古屋大学環境医学研究所）
「XPV責任遺伝子産物Pol etaを制御するメカニズム」
13:45~14:30 増田 雄司（広島大学原爆放射線医科学研究所）
「突然変異誘発経路の制御機構～PCNAのユビキチン修飾の生化学的解析から」
14:30~15:15 大学 保一（Genome Damage and Stability Centre, University of Sussex）
「出芽酵母と分裂酵母における突然変異制御の研究～
DNA損傷バイパスのタイミングとその制御」

■ 座長 / 伊吹 裕子（静岡県立大学環境科学研究所）

15:35~16:20 山下 孝之（群馬大学生体調節研究所）
「分子シャペロンHsp90による複製ストレス応答の制御」
16:20~17:05 河野 隆志（国立がん研究センター）
「ヒトがんゲノム変異：大規模ゲノム解析がもたらす
環境変異原研究と治療へのインパクト」

17:05~17:10 おわりに
日本環境変異原学会
企画担当理事 布柴 達男（国際基督教大学）

協賛：慶應義塾大学薬学部

※希望者には慶應義塾大学薬学部
認定薬剤師研修制度による
生涯研修認定単位(3単位)を付与します。

参加費：無料

※事前申し込みは不要です。
当日、会場へ直接お越しください。